

今週（6月1日から6月5日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

無担保コールO/N物については、引き続き資金調達サイドのニーズが堅調で、出合いの水準は0.727～0.728%が中心となった。加重平均レートは週を通して大きな変化が無く、1日が0.726%、2日・3日が0.727%、4日が0.726%となり、本日も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、週初から証券業態が2M物以上でレートを徐々に切り上げる動きが見られ、きさらぎ会における植田総裁の発言からその様相がより強まった。2M物は1～1.1%、3M物で1.1～1.15%での出合いが散見された。4M物以上の引き合いは資金の出し手が消極的であるため閑散となった。

日銀当座預金残高については、週初1日は2年債発行などにより447兆円程度に減少、3日には税・保険料揚げや10年債発行などにより436兆円程度に減少。4日・5日には小幅増加し、438兆円程度で着地する見込み。

●債券レポ市場

債券レポ市場 GC T/N物の出合い水準は、0.75～0.76%での取引となった。業者からのオファーが多く、週を通して小甘く推移した。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーパスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

短国市場は、3Mゾーンと6Mゾーンが6月利上げを織り込み、レート調整された。

5日に実施された3M入札は事前予想対比で強めの結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

CP市場は、石油・卸売業などの業態で大型発行が見られた。

市場残高については、3月末の20.5兆円をボトムに、4月末23.2兆円、5月末24.9兆円と順調に回復しており、今週は25.1～25.3兆円で推移している。

発行レートについては、銘柄間格差が広がっており、日銀適格銘柄の1～2Wで0.77～0.82%、6/30エンドで0.90～0.94%、7月エンドの1M0.96～1.02%、2M1.03～1.05%、3M1.2%程度の出合いが散見された。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/1 (月)	66,934.33	2.680	159.45	0.726	0.755	4,465,200
6/2 (火)	66,734.24	2.565	159.72	0.727	0.755	4,404,700
6/3 (水)	68,402.13	2.640	159.96	0.727	0.755	4,364,300
6/4 (木)	67,470.69	2.669	159.90	0.726	0.755	4,373,600
6/5 (金)	66,588.12	2.665	159.96	0.727	0.755	4,374,100

翌週（6月8日から6月12日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/8 (月)	1-3月期のGDP2次速報(内閣府 8:50) 4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 5月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				
6/9 (火)	5月のマネーストック(日銀 8:50)	TDB6M物 6/10発行 35,000億円			4月の米貿易収支 5月の米中古住宅販売件数 4月の米卸売売上高
6/10 (水)	5月の企業物価指数(日銀 8:50)		30Y物 6/11発行 6,000億円		5月の米消費者物価指数 5月の米財政収支
6/11 (木)	4-6月期の法人企業景気予測調査(内閣府・財務省共管 8:50)			I社債・借入 6/22借入 7,315億円	ECB定例理事会 5月の米生産者物価指数
6/12 (金)	金融政策決定会合議事要旨(4月27、28日分 8:50)	TDB3M物 6/15発行 41,000億円			6月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/8 (月) 日銀予想	900	▲ 600	300	国債補完供給 社債等買入	900 ▲ 300		600	900	TB3M発行▲41,000償還47,000
6/9 (火) 弊社予想	▲ 600	500	▲ 100				0	▲ 100	
6/10 (水) 弊社予想	▲ 600	500	▲ 100	全店共通(固)	▲ 8,008		▲ 8,008	▲ 8,108	TB6M発行▲35,000償還35,000
6/11 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 10,000	▲ 10,500				0	▲ 10,500	30Y発行▲6,000
6/12 (金) 弊社予想	▲ 600	12,000	11,400				0	11,400	交付税借入▲11,000期日13,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心とした堅調な調達ニーズが見込まれる。ターム物では、日銀の利上げ観測を背景に、6月末を跨ぐ期越え案件において証券業態などの調達レートがどこまで切り上がるかが焦点となる。債券レボGC T/N物のレートは、0.75~0.76%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、9日(火)に6M物、12日(金)に3M物の入札が予定されており、会合直前に入札動向に関心が集まっている。CP市場は、決定会合を控えており、様子見姿勢が強まる中での動きが注視される。

来週の主要なイベントとして、国内では8(月)に1-3月期のGDP2次速報、4月の国際収支、5月の景気ウォッチャー調査、9(火)に5月のマネーストック、10(水)に5月の企業物価指数、11(木)に4-6月期の法人企業景気予測調査、12(金)に金融政策決定会合議事要旨(4月27、28日分)などが公表予定である。海外では9(火)に4月の米貿易収支、5月の米中古住宅販売件数、4月の米卸売売上高、10(水)に5月の米消費者物価指数、5月の米財政収支、11(木)にECB定例理事会、5月の米生産者物価指数、12(金)に6月のミシガン大消費者信頼感指数速報などが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある)

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。